

## 「攻めのIT経営」で生産性や競争力を飛躍的に高め、 新たな価値を創造し、社会に貢献

JFEグループは、鉄鋼、エンジニアリング、商社を中核的な事業とし、「常に世界最高の技術をもって社会に貢献」することを企業理念としています。

こうした企業理念のもと、2018年度に始まり2020年度を最終年度とする第6次中期経営計画では、JFEグループの共通施策として、「最先端技術により社会ニーズに同期化し成長戦略を推進すること」、「国内収益基盤の整備を進めて製造実力を強化すること」、「海外事業を推進し収益を拡大すること」、そして「持続的な成長を支える企業体質の強化を徹底すること」の4つを掲げ、グループ一丸となって企業価値の向上に努めることとしています。

これらの施策を推進するにあたり、JFEグループは、AI、IoT、ビッグデータ等の先進的なデータサイエンス技術やロボティクス技術を積極的に活用しており、今後もより一層活用の幅を広げていきます。また同時に、既存の製鉄所基幹システムに代表される大規模なレガシーシステムの刷新を通じ、業務改革を推進することにも取り組んでいます。

「先進ITの積極的な活用」と「レガシーシステムの刷新」。これらを両輪に業務改革を推し進めることによって、

技術力・販売力・経営管理能力の総合的な強化を図り、社会のニーズに即応した商品や技術の開発、生産性の飛躍的な向上を実現することが、JFEグループの考える「攻めのIT経営」です。非常に多くの時間とマンパワーを要する取り組みですが、これを着実に進めることが、第6次中期経営計画の4つの施策推進に資すると確信しています。

加えて、JFEグループは、高度化・複雑化するサイバー攻撃や情報漏洩リスクから、情報資産を守るための情報セキュリティの向上を重要な経営課題のひとつと位置付け、迅速かつ網羅的なリスク対策の構築を進めています。そうした活動を効果的に推進し、グループ一体で情報セキュリティガバナンスを強化するために、JFE-SIRT (JFE Security Integration and Response Team) という対策チームを設置しています。これは「攻めのIT経営」を支える重要かつ守備的な取り組みであり、今後もより一層のレベルアップを図ります。

本レポートでは、JFEグループにおける「IT戦略」に基づいた取り組みを公開しています。皆様にとって有益な情報のご提供と、JFEグループのIT施策に対するご理解を深めていただく一助になれば幸いです。



JFEホールディングス株式会社  
常務執行役員

藤原 弘之